

市民センター事業説明書

事業名	柳生和紙を知ろう	担当	柳生市民センター
-----	----------	----	----------

1 事業の目的・ねらい
<p>昔から地域に伝わる柳生和紙であるが、残念ながら、現在その和紙づくりを生業としているのは一軒だけとなってしまった。この地域だけに残る柳生和紙の魅力を後世に残すためには、できるだけ多くの住民に、柳生和紙の歴史と製作工程や実際の製品を知ってもらうことが必要である。</p> <p>多くのことを学んだ人の中から、もっと柳生和紙を理解し、守っていこうとする人が現れること、また、その魅力を広めていく人材を育成することを目的に事業を展開する。</p>
2 事業の内容
<p>3回連続の講座を実施する。</p> <p>【第1回】柳生和紙の歴史と製作過程を知る研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳生和紙の歴史についての講話を聞く。 ・実際に和紙と和紙を使った作品を鑑賞する。 <p>【第2回】紙すき体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に紙すきを体験し、作品作りの準備をする。 <p>【第3回】和紙を使った作品作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ですいた和紙を使ってランプシェードを作る。 ・全員で作品を鑑賞し、柳生和紙について感想を発表し合う。
3 これまでの経緯(成果)
<p>およそ20年前、柳生小学校で起業家教育が盛んに行われ、一部の保護者により柳生和紙プロジェクトを立ち上げた。現在は、中心メンバーが4名、お手伝いなどで関わる方を含めると20名程度で活動を行っている。</p> <p>柳生和紙プロジェクトのメンバーは、小学校や中学校で普及活動に取り組み、仙台七夕まつりへも参加している。また、柳生市民センターでは、イベントや講座等で積極的な協力をを行い普及活動に貢献するとともに、毎年夏の時期には和紙を使った七夕飾りを玄関ホールに展示している。</p>
4 今後の展開・方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代への継承のため、市民センターとして講座の開催や普及活動への支援を継続していく。 ・地域の歴史を知ること、より地域を愛する気持ちを醸成する。 ・伝統工芸に関心をもつことにより、先人の知恵を学び、新しい時代にもその知恵を生かしていこうとする力を身につける。 ・親子が共通の体験をすることにより、会話も増え関係性を深めることにつなげる。

現代的課題等 *重複選択可(該当するものに○)

高齢	障害	子育て	介護	安心安全	多文化共生
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	全ての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水と水を世界中に
ICTをみんなに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤を	人や国の不平等をなくす	住み続けられるまちづくり	つくる責任つかう責任
気候変動に具体的な対策	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標達成	